

研修プログラム概要

研修期間	2 年間
研修病院（代表病院）	高知大学医学部附属病院
研修協力病院（パートナー病院）	高知県立あき総合病院
研修協力薬局（パートナー薬局）	日本調剤高知東薬局、エール薬局医大前店

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	4ヶ月	1年目(4-7月)	高知大学医学部附属病院、 高知県立あき総合病院	・基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 ・散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	1ヶ月	1年目(8月)	高知大学医学部附属病院	・麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務 ・在庫管理、発注業務、トレーサビリティ
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	1ヶ月	1年目(9月)	高知大学医学部附属病院	・DI室研修、質疑応答の実践 ・新薬採用審議における評価資料の作成
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	12ヶ月	1年目(10-3月) 2年目(4-9月)	高知大学医学部附属病院	・内科系・外科系を担当 ・担当患者を持ちカンファレンスへ参加 ・症例報告(10症例)の作成
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	1ヶ月	2年目(10月)	日本調剤高知東薬局、 エール薬局医大前店	・連携する薬局にて実習 ・在宅療養管理指導への同行、多職種連携の実践
必修	(6) 医療安全 【全期間】	全期間	通年	高知大学医学部附属病院	・インシデントレポート分析 ・リスクマネジメント委員会への参加
必修	(7) 感染制御 【全期間】	全期間	通年	高知大学医学部附属病院	・ICTラウンド同行、抗菌薬使用届出の確認 ・標準予防策(手指衛生等)の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	全期間	通年	高知大学医学部附属病院、 高知県立あき総合病院	・トレーシングレポート運用、退院時サマリー作成 ・3年目：②地域中核病院での研修(2ヶ月間)
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	2週間程度	1年目(8月)	高知大学医学部附属病院	・高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・閉鎖式接続器具(CSTD)の適正使用指導
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	半年	2年目(4-9月)	高知大学医学部附属病院	・レジメンチェック、支持療法の提案 ・外来化学療法室での薬剤師外来(面談)の実践
選択	(11) TDM	随時	2年目、3年目	高知大学医学部附属病院	・抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成 ・解析ソフトの運用管理
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児・産婦人 科・精神科の薬物治療等)	1年	3年目	高知大学医学部附属病院	・がん、感染、精神、緩和など特定領域 ・専門薬剤師資格取得要件となる症例の集積
選択	(13) その他				

補足事項 研修生の所属施設により研修時期は異なります